

ダリマナ

～ 南の風 ～

平成 31 年 4 月 11 日 (木)

校長室日記

かいっぱい

第 5 号

常磐南小ならではの実践を！ 平成 30 年度実践収録「常葉の森」(校長)

エコロタウンは私のふるさと

常磐南小 6 年 (現：高校 1 年) 酒井 美結

私は 3 年生のとき、となりの常磐東小学校からこの常磐南小学校に引っ越してきました。新しく家を建てることになり、その場所を探しているとき、となりの常南小学区にエコロタウンという新しい住宅地ができることが分かりました。家族でその場所を見に行きました。すると、そこは南向きのなだらかな斜面で日当たりがよく、風通しもよい、自然豊かなところでした。すぐに気に入りました。そして新しく家を建て、私たち家族の第二のふるさとにしたのです。

…………… (中 略) ……………

3 年前はまだ家がまばらにしか建っていなかったエコロタウンは、今では 150 軒を超え、空いている宅地はほとんどなくなりました。それぞれの家には必ず庭があり、木が植えてあります。町の真ん中を通る「散歩をしたくなる緑道」の木々も大きくなりました。私は、このエコロタウンがますます好きになってきています。私のふるさととは、このエコロタウンのある常南です。いつかふるさとを離れる日が来るかもしれません。しかし、必ず戻ってきたいと思います。

この作文は、昨年の秋に出版した郷土本「ふるさと ときわみなみ」に紹介した本校卒業生の酒井美結さんが 6 年生のときに書いた作品です。

本校の歴史をたどると、明治、大正、昭和と 100 名を超えていた全校の児童数は、昭和 35 年頃から減少し始め、昭和 41 年には初めて 100 名を切り、平成 21 年度から平成 25 年度まで複式学級が実施されています。そして、平成 22 年度には全校児童数が 29 名まで落ち込みました。こうした小学校の児童数の減少を受け、学区の方々に、何としても活気を取り戻したいという願いが強くなり、田口町に新興住宅地「エコロタウン」を誘致しました。造成工事終了後、宅地が増えたことで、本校の児童数は平成 28 年度に 100 名を超えました。その後も児童数は増加し、2 年後には 180 名を超す見通しです。現在は、田口町に含まれるエコロタウンの住民は、同町の祭礼や奉仕活動などに積極的に参加しています。かつては存亡の危機や過疎の問題を抱えた常磐南学区。しかし、本校には、豊かな自然環境と地域の温かな教育力に包まれた、常磐南小ならではの活動があります。ワラビ採集会、自然薯栽培、田植え・稲刈り体験、感謝の会などを本校独自の縦割り活動で行い、日本の伝統芸能である雅楽や和太鼓の活動も大切にしてきました。子供たちはこうした活動を通して、地域の持つ豊かな自然の恩恵や人々の思いを学ぶ機会とし、学区を愛し、より発展させようとする心を持った子供たちが育っています。

今ここに、平成 30 年度の実践のまとめとして、それぞれの取り組みの一部をまとめることができました。こうした実践をステップにして、さらに課題解決を図っていきたいと考えています。そして、真摯な姿勢で子供たちと接し、常磐南小ならではの実践を進めていきたいと考えています。